

令和 2 年度第 2 回愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会

(Web 会議) 議事録

令和 2 年 11 月 26 日 (木) 15:00~16:10

出席者 (37名)	愛媛大学医学部附属病院	塩見、大野、武市 六角	愛媛県立中央病院	村上、渋谷、上野、 季羽、石山、小笠 原、井上
	済生会今治病院	松岡、池田、西部	松山赤十字病院	佐伯、高須賀
	住友別子病院	和田、山地、高橋	市立宇和島病院	毛利、川中、沼田
	松山市民病院	三谷	四国中央病院	古川、高木
	HITO 病院	守屋	十全総合病院	向井
	済生会西条病院	大谷	済生会松山病院	平岡、藤原
	市立八幡浜総合病院	高橋	四国がんセンター	灘野 (部会長) 羽藤 (副部会長) 藤山 (副部会長) 福島、関木
	愛媛労災病院	田中		
事務局	四国がんセンター	安宅 (事務担当)		

挨拶

がん相談支援専門部会 部会長 灘野成人

I. 報告・協議事項

1. ホームページ改定 福島美幸 (四国がんセンター)

業者交代による内容の見直しを行い、年度計画 2 年分が見られるようになっている。
活動実績は議事録と報告書 (ワーキングの活動と研修会の活動を記録) の 2 つに分けた。
愛媛県のサポート情報を 3 つ (がんサポートブックえひめ、がんサポートサイトえひめ、
がん相談支援センター) に分けてまとめている。(★12 月 1 日に正式に公開予定)
ホームページ URL は、<https://ecch.jp/>

2. 各ワーキングからの報告

1) 相談員研修 WG WG リーダー 篠原瞳 (四国がんセンター) 代理報告福島

①令和 2 年 11 月 14 日 (土) オンライン QA 研修の開催報告

- ・受講者 33 名 【県内 18 名 (拠点 15 名、推進 3 名)、県外 15 名】の参加
- ・県外は青森、岩手、新潟、岐阜、東京、神奈川、愛知、大阪、香川、高知、福岡
- ・県内の参加者は看護師が少なく、MSW の出席が多かったが、県外は逆で MSW の方が

少し少なかった。

- ・オンライン研修会開催の準備については、受講者向け、運営スタッフ向けの準備内容の紹介。準備において工夫した点は、申込みフォームを Google フォームで作成し、URL と QR コードをポスターに貼り付ける為、名簿作成が自動で可能である。そして、1 グループ 4~5 名の参加者とファシリテーター1 名と小規模なグループとした。資料は郵送を避け、メール配信とした。
- ・運営側の感想：
 - ・ファシリテーターが QA 研修に慣れており、安定した研修であった。
 - ・県を跨いで協力体制をとることで新たな研修の開催が出来るのではないかと。
 - ・開催会場に ZOOM 操作等、運営側に必要な人材や人員もオンライン研修には重要である。
 - ・受講者の感想としては、初めてのオンライン研修ではあったが満足出来た。看護師、MSW それぞれの視点があり、とても勉強になった。

②来年度の研修について

- ・おそらく集合研修は難しく、オンライン研修を開催していくのではないかと思います。
- ・拠点病院の整備指針が出てきている。県単位の継続研修も是非、受講して頂きたい。

2) 広報活動 WG WG リーダー 大西明子 (四国がんセンター) 代理報告福島

①令和 2 年 11 月 8 日 (日) 愛媛県立図書館 出張相談会報告

相談支援センターの講義を予定し、相談の予約も入っていたが急遽キャンセルとなり、当日の相談者はいなかった。協力スタッフの方に図書館の様子を一緒に見て頂いた。

近く、報告書をホームページにアップする。

②令和 3 年 3 月 14 日 (日) 新居浜市でのイベントにて出張相談予定

住友別子病院: 新居浜市からも出来るだけ開催したいと言われている為、状況を見ながら開催の方向で進めたい。来年 1 月に開催可否を最終決定する。

③がんサポートブックえひめについて

- ・(新) 協議会のホームページ改定に伴うお知らせ
各病院でリンク先の変更をお願いしたい。
15 ページに掲載の「暖だん」の開館日の修正を各施設で修正をお願いしたい。
- ・がんサポートブックの修正アンケート実施予定 (★12 月メール配信予定)
アンケートの締切は来年 1 月末を予定している。協力をお願いしたい。
- ・web アンケートの返答は全くなく廃止を検討している。参考までに、がんサポートブック巻末のハガキの返送も最近はない。→特に異論なし。

④来年度の活動について

来年度は出張活動のような大きな活動は難しいと思われる。よって、がんサポートブックえひめの改訂作業に力を注ぎたいと考えている。

3) チェックリスト WG WG リーダー 松岡誠子 (済生会今治病院)

①チェックリスト項目の修正ポイント

- ・新整備指針の項目、国がんの示すチェックリスト S 評価と A 評価を主に追加。
- ・既存の項目を統合して整理して項目数は 34 項目から 28 項目に減らした。
- ・今までは“していること”に対しての是非を問うものが多かったが、新項目はバージョンを上げて、実際の対応状況などの具体的に問うような内容に変更している。
- ・チェック項目の結果は厳しいものになるかもしれないが、取り組むべき課題を明確化して相談の質を上げることを目的とする。このチェックリストを行い、つけにくい点などの意見を出していただき、来年度のチェックリストに活かしたい。

上記項目の修正案について、異論なし。

②今後の予定

- ・各病院でのチェックリストの実施
提出期限：令和 2 年 12 月 28 日（月）期限厳守
- ・WG で各病院の結果を集計、まとめ
令和 3 年 2 月までに集計 課題の抽出と来年度の活動の検討
年度末に結果・報告書の配信

4) 災害 WG WG リーダー 関木裕美 (四国がんセンター)

①災害 WG の取り組み状況報告

1) 定期的な災害時連絡シミュレーションの実施

今年 4 月に実施。がん情報サービスの被災地周辺地域受入体制調査フォーマットを使用して患者の窓口であるがん相談支援センターの状況、他院からの受け入れ窓口などになる地域連携室の報告を頂いている。2 回目だった為、スムーズな回答であった。今後も年一回年度初めの 5 月頃にシミュレーションを行いたい。協力をお願いしたい。

2) 災害時の情報共有について

●災害時の状況調査.

WG メンバーで愛媛県内に警戒レベル 4 相当の災害が発生した際の情報共有の方法を検討。方法は ①災害時の状況調査を四国がんセンターより相談支援専門部会 ML にて依頼 ②各病院で質問票返信フォームに記入の上、返信。③四

国がんセンターでそれを一覧表にして相談支援専門部会 ML で情報を共有。

●がん患者さんの受け入れ体制調査について

こちらはがん情報サービスのホームページ内のがん診療連携拠点病院向け災害時情報ページの確認を。大規模災害時のがん患者の受け入れ状況の把握、情報共有の依頼が入る。平成 28 年熊本地震、平成 30 年大阪北部の地震でも都道府県の拠点病院を中心に情報を収集し、ホームページ上で情報を共有。

●課題：

- ・フォーマット内への記載と情報を共有する際の院内、地域内ルートの確認。
- ・情報共有は県拠点病院が中心となって行うようになるだろうが、県拠点病院が被災した場合、どこが情報を共有するか
- ・今後、課題を明確にして県内のがん相談支援センター内の情報共有を確実に行う方法を整備する。

②愛媛新型コロナウイルス感染症に関わる診療状況及び相談対応等の情報共有について

- ・4月と9月の2回、がん情報サービスの様式を使用してメールで情報を共有。
- ・新型コロナウイルスの状況は変化している為、がん情報サービスの動きに応じて情報を共有したい。その際は協力をお願いしたい。

II.その他

1. がんサポートサイトえひめについて 寺本典弘（四国がんセンター）

① データ更新

- ・子宮頸がんが出来ました。
- ・コロナ情報を追加した。
- ・院内がん登録由来データを 2018 年のものに更新した。

② 充実

- ・膵臓：日赤から原稿を受領。四国がんセンターWG で内容を検討中。
- ・前立腺：愛大に原稿を依頼済み。
- ・「痛みを和らげる」：診断した時からの緩和医療の情報も必要ということで原稿を準備中である。おれんじの会や新聞社の協力も得て充実させていく。
- ・来年 6 月にデータの更新を依頼する予定。

2. 第 15 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会報告

11 月 27 日（金）にオンライン会議を開催。（★後日メール報告）

3. 各施設からの周知事項

●ハローワークの出張相談における各施設の状況報告

- ・松山市民病院：今年 7 月から開始。7、8 月は相談がなかった。その後、場所を

変更してから 2 名が相談に来られた。

- 住友別子病院：8 月末まで 1、2 件／日の相談があったが、コロナの影響もあってか 10 月になると相談件数は減少してきた。直接、ハローワークに相談に行くケースもあるようだ。
- 愛媛労災病院：今までの相談者は 2 名。相談回数は 9 件（修正）。場所が奥まった所にある為、掲示を工夫したが相談件数増加には繋がっていない。

議事録担当：愛媛労災病院（次回は、済生会松山病院）